



Lesbian motherhood and reciprocal IVF in China.

中国のレズビアンと相互 IVF

Interviewee

Ms. Hao Zheng

Q.自己紹介をお願いします。

中国本土出身で、17歳で初めてオーストラリアに来た。メルボルン大学で学士号を取得した。優等賞を取得した研究プロジェクトは、中国のレズビアンと Weibo というソーシャルネットワーキングツールの使用に焦点を当てたものだった。

現在、メルボルンのディーキン大学で博士過程に進んで3年目になる。現在は、オーストラリアに住んでいる中国人で、クィア的女子学生を対象に、アイデンティティ構築を中心に研究している。

Q.中国のレズビアンやレズビアンカップルが置かれた一般的な状況について簡単に教えてください。

中国の同性愛者にとって、よい時代とはいえない。法的権利と差別について、問題が発生しつづけている。同性愛は非犯罪化されているが、それでも社会的には非常なスティグマを着せられている。

LGBTQ の権利運動とフェミニスト運動については、検閲が多くなされていて、発言できる場所は減少している。中国社会で LGBTQ やトランスジェンダーとしてカムアウトすることは大きな不安を生む。

LGBTQ の活動家や支持者は、必ずしも中国を離れて活動する必要はないと考えているが、中国に住む人は海外に住む人よりも確実に大きなリスクがある。海外

に住んでいる人でも、家族を訪ねるために中国に戻った場合、監視下に置かれたり、検閲の対象となる可能性があることに注意しなければならない。この不確実性は心理的な負担になっている。

Q.中国のレズビアンカップルについて行った調査の方法を教えてください。論文で取り上げられていたのは典型的な事例と考えられますか？

Journal of Homosexuality に発表した論文は、オンラインでオープンにアクセスできるメディアコンテンツを事例にした研究だった。具体的には、中国のソーシャルメディアプラットフォームである Weibo を介したデジタル民族誌で、中国のレズビアンに関する内容に焦点をあてた。レズビアンの告白ページにアップロードされた特定の投稿（著者不明）を詳しく読んだ。分析はその著者自身についてではなく、投稿に関するものであったため、インタビューの参加者を募集する必要はなかった。

博士課程の研究のために、オーストラリアで若い中国人のレズビアンを募集した。自分のソーシャルメディアアカウントとネットワークを使用して、プロジェクトに関する情報を広めた。研究参加者を見つけることは難しくなかった。3~4か月以内に、オーストラリア全土から首尾よく20名募集できた。このプロジェクトの研究参加者は、オーストラリアに住んでいる人なので、中国のレズビアンの典型的な代表ではない。それは、彼らが中国以外の文化を経験したことを意味する。彼女たちは若く、Covid の制限が緩和された直後に中国から来た人たちもいる。

Q.調査で出会った、印象的な事例について教えてください。



Journal of Homosexuality の論文の基になった事例研究は、最も重要で記憶に残るものだ。ほとんどの人が、Weibo の投稿を、研究の材料とは考えていなかったかもしれないが、自分はそれが実り多いと感じた。投稿は 2019 年 1 月のもので、当時は非常に物議を醸していた。レズビアンコミュニティ内外の自分のネットワークで議論されていたことを思い出す。それはレズビアンの母親についての言説を、公的な領域に広げるものだった。

概要を簡単に説明すると、問題の投稿は、レズビアンのパートナーの卵子

(Genetic Mother) を使用して相互 IVF で双子を出産したレズビアンの母親 (Birth Mother) からのものだった。産みの母親と、彼女のパートナーの遺伝的母親の間には、階級と社会的地位の点で大きな格差があった。産みの母親は、遺伝的母親と一緒に暮らすために都会に引っ越しをした。その後、彼女たちに双子が授かった。産みの母親は、義母と一緒に家で子供を育てるために仕事を辞めた。義母は産みの母親をいじめ、最終的には産みの母親と遺伝的母親の関係は破綻した。産みの母親は家から追い出され、子供たちと会うことができなくなった。

産みの母親は、子供たちに良い将来を与えるため、都市 ID を与えることを望んだ。そして、出生時に、産みの母は遺伝的母親の ID を使用して、遺伝的母親を出生証明書の母親に入れていた。したがって、遺伝的母親が法律上の母親と見なされた (出生証明書に記載できる母親は 1 人だけ)。その結果、産みの母親は、子どもと遺伝的に関係がなく、また出生証明書にも記載されていないため、子供との親族関係を証明することは非常に困難になる。関係が破綻した後の状況は彼女にとって悲惨だった。産みの母親には、監護権を主張する手段がなく、支援を求める手段もなかったため、彼女は自分の

話を匿名で Weibo に投稿した。それは信じがたい話だった。

Q.中国で親になっているレズビアンカップルはどのような方法で親になりましたか? どのように法律や差別に対処し、どのように子育てをしていますか。

レズビアンカップルにとって、体外受精は、親になるために最も一般的な手段。中国のステップファミリー (※以前の異性愛関係や結婚で妊娠し、後にレズビアンの家庭で育てられるようになった子供のこと) についてはあまり議論されていない。生殖補助医療にアクセスするために海外に渡航するレズビアンもいて、こうした母性の購入については、たくさんの議論がある。

微妙な親族関係の例もたくさんある。それは、家族を始めるための、契約結婚である可能性があるという意味。たとえば、レズビアンは世間体のためにゲイ男性をパートナーに選んで結婚することがある。家族はそのことを知っているかもしれないが、黙っている。その後、生殖補助医療で子供をもうける (例: 自宅で IUI をするなど) そしてその子供と一緒に育てる。これは、親と子の世代間の交渉を反映している可能性がある。親が子供に孫を見せるよう圧力をかけている。

Weibo のケーススタディでは、祖父母が子育てにどのように関与していたか、義母が家計を管理するためにどのように介入したか、カップルの分業 (お金を稼ぐ人と子育てをする人) に焦点を当てた。産みの母親は、子供たちに母乳を与えるために家にいる必要があるため、これも検討事項になる。このような要因は、レズビアンカップルが家族を作る方法に影響を与えるが、その取り決めはカップルによって異なる。パートナーの仕事の状況、社会的地位、母性に対する家族のサ



ポートと親族関係を考慮し、パートナー間で間違いなく交渉が行われる。

Q.中国で親になりたい/なったレズビアンカップルは主にネットで情報を収集しますか? 政府の規制はありますか? どのような悩み事や相談が多いですか?

インターネットとソーシャルメディアは情報を得るため非常に良い手段だ。Weiboで、パートナーと一緒に海外で体外受精を使って妊娠する計画について書いているレズビアンブロガーを知っている。このブロガーは、自分をどのようにシングルマザーとみせかけたかについて投稿していた。例えば、シングルマザーとして、子育て政策などに関する情報を求めて地方自治体に電話をかけていた。これは住んでいる場所によって異なるので、どのような法律、施設、福祉サービスが適用可能か、アクセス可能か、それを知ることは重要だ。

子供と一緒に持つことにしたレズビアンカップルは、社会的スティグマと差別の問題について、すでに検討しており、将来、子供たちがその問題に必然的に直面することがわかっている、前に進むことをすでに決心している。中国社会において、LGBTQに好意的ではない規制とLGBTQへの理解の欠如の中で、子供の嫡出性と法的関係をどのように確立するかが、レズビアンカップルにとって主要な関心事になる。

Q.中国で、親になったレズビアンカップルや子供のためのサポートグループはありますか?

以前は、多様な家族ネットワークというNGO（現在は「未来の家族」として登録されている）をよく見ていた。この団体は、レズビアンの母親にインタビューし、彼女たちの経験について書き、さま

ざまな政策や福祉サービスへのアクセス方法などに関する情報を公開、配布している。また、女性が卵子凍結をする権利を支持している（これは現在認められていない）。Future Familyは、情報を広めるために必要な公式のWeChat / Weiboアカウントを取得するために、広告会社や通信会社として登録している。彼らは政府に自分達の活動を明らかにしていない。彼らがどのようにして活動資金を得ているか、自分は知らない。

レズビアンのカップルが別れたあと、女性に法的援助を提供するグループもいくつかある。

Q.多くの国では、産んだ女性が法的母親になりますが、中国では、どうでしょうか。レズビアンカップルの場合、法的父親は誰がなりますか?

通常、出産時に法的な母親として認められるのは出産した女性であり、そのように推定が行われる。ただし、2019年以降、親が北京の都市部で子供を登録する場合、遺伝的証拠を提出する必要がある。したがって、シングルマザーは証拠として遺伝子検査を行わなければならない。養子縁組をとるのは、異性愛カップルだけで、それは完全に法律に則ったものでなければならない。

シングルマザーの場合、住んでいる地域によっては、出生証明書の法的父親の欄を空白のままにすることができる。詳細はわからないが、このような理由で、レズビアンたちはアドバイスを求めて互いにコミュニケーションをよくとっている。中国では、地域によってかなり違いがある。

Q.中国で親になりたいレズビアンカップルは、精子をどのように入手しますか。精子に対する好みはありますか?



海外の精子バンクから精子を購入するのが一般的だと思う。これは COVID の間は簡単ではなかったが、それまでは確実に最も人気のある選択肢だった。これは十分な資金を持っているレズビアンだけがアクセスできるものだ。友人から精子をもらうのも選択肢の一つだが、この場合、精子提供者が法律上の父親になってしまうので、複雑で難しい面がある。契約結婚も精子にアクセスするもう一つの方法だ。

レズビアンは依頼親が、精子ドナーを選ぶことができるなら、彼女たちは是非そうするだろう。しかしもっと可能性があるのは、自分たちが選んだクリニックで決められた手順に単に従うだろうということ。ウクライナやタイなどに渡航する人もいれば、アメリカに行く人も多い。どれだけの選択肢があるかは、渡航先の政策やサービスによって異なる。もちろん、彼女たちは精子ドナーの健康にはとても注意を払っている。人種の好みがあるかどうかについてはよくわからないが、依頼親の中には白人の精子ドナーを好む人もいる。

Q.中国のレズビアン母親たちは、生物学的父親(biological father)について子供にどのように教えていますか? どのような存在ですか。交流はありますか。
このことについて、自分は情報を持っていない。

Q.中国でレズビアンカップルに育てられた子供について、何か情報を持っていますか? どのような脆弱性がありますか?
これに関する研究を知らないが、これを研究している中国の博士号と修士号のレベルの若手の研究者がいるのを知っている。上海のある教授は、主にクィアの同性愛研究に焦点を当てていて、その関連

で、クィアの親族関係についても研究している(研究論文は中国語で発表されている)。レズビアンカップルの子供たちはまだ若いので、研究はこれから行われるだろう。

Q.中国のレズビアンカップルにとって、reciprocal IVFは、お金はかかるが魅力的な選択肢ですか? どのくらい浸透していますか? これは、女性同士のカップル間の親密性を増すでしょうか?

相互 IVF は妊娠したいレズビアンカップルの間で人気がある。結婚という形でレズビアンカップルの関係を法律化する手段がないので、子供を一緒に持つことは関係のマイルストーンのように思えるかもしれない。相互 IVF は、両方の女性が何らかの意味で生物学的な母親になり、そのような関係の中で、子供の養育をすることができる。この技術は、レズビアンカップルの関係を正当化し、それを新しい段階に押し上げるための素晴らしい方法だが、保護はなく、レズビアン母性に対する理解の欠如のために、リスクを孕んでいる。搾取やいじめのリスクが大変大きい。パワーダイナミクスと分業を考慮する必要がある。

Q.中国のレズビアンカップルの間で、reciprocal IVFが行われる場合、力関係が反映されますか? どちらの卵子を使うか、どのように交渉されますか? それは常に、男性的な方が卵子を提供し、女性的な方が子を産んで子育てをする、という既存の男女関係をなぞったものになりますか?

体外受精を始める前に、カップルはオープンに話し合うべきだ。誰がどのような役割を担うかを計画する際には、懐具合が重要な問題になる。平等になることは決してないので、一方が子供とより多く



の時間を過ごす間、もう一方が必然的にもっと働く必要がある。社会階級も要因になる。一人が都市に拠点を置き、もう一人がより地方の出身である場合、都市に住む女性が、関係においてより多くのリソースと力を持っている可能性がある。妊娠したくない女性もいるため、男性性と女性性も関係している。さらに、一方の女性が子どもを産むことができない場合、それは決定的な要因となる。

一般的に言って、遺伝的つながりは中国では重要。しかし、中国のレズビアンの場合、法律上、結婚することができないため、多くの人はずでに自分たちが家族制度から「排除されている」と考えている。年配の世代は、家族の系譜を継続することに大きな関心があるが、レズビアンカップル自身はそのことにあまり関心がないのではないかと思う。

Q.中国のレズビアンカップルにおいて、パートナーの卵子で妊娠出産する女性の期待は何でしょうか？自分の脆弱な立場について、(事前に)どのくらい認識していましたか？

それは愛の表現またはロジスティクスの反映である可能性がある。期待が何であるかを真に理解するには、さらなるデータが必要。この場合、母親になることは双方ともに可能なので、交渉を通じて意識的に決定がなされる。相互 IVF の状況で産みの母親となることは、パートナーが健康上の問題のために子供を産むことができない場合は、サポートの表現になる可能性がある。

前述の Weibo の匿名投稿者は、パートナーとの関係において、脆弱性と搾取を経験した。この脆弱性は非難を浴びる可能性がある。彼女の投稿に対する一般の人々の反応として、彼女は「愛によって洗脳され」、彼女の苦境は、最終的には彼女自身に責任があるとされた。レズビ

アンコミュニティの人々でさえ、その状況が、法的保護がないためにどれほど難しいものであるかについて、あまり理解していない。

Q.中国のレズビアンカップルにおいて、自分の卵子を使ってパートナーに妊娠出産してもらう女性の期待は何でしょうか？中国特有の社会的背景により、意図的にレズビアン生殖を選択することはありえますか？

相互 IVF で、卵子を提供する女性は、家系を継続することに意図的にはフォーカスしていないのではないかと思う。そうは言っても、家系の継続は、年配の世代にとっては重要であり、彼らが「義理の娘」を家族に迎え入れ、彼女の世話をすることに同意する大きな理由になる可能性がある。親の世代は、孫を見たいがために、寛容性を身につける。レズビアンの娘にとっては、他に方法がないかもしれないから。しかし、子供が生まれた後、親は、娘のパートナーを「用済み」と感じるかもしれない（それが最初からの計画だったわけではないが）。これは祖父母としての交渉の結果だ。最終的に、祖父母は、「無償の代理母」となった女性を捨てたいと思うかもしれない。

Q.中国のレズビアンカップルにおける Reciprocal IVF のあり方は、西欧社会と比較して、特異なものですか？

中国のすべてのレズビアンカップルに対して、子供をつくる前に、法的な不安定さについてよく考えてほしいと思う。法的な承認はないが、互いのつながりを証明する手段は他にもある（たとえば、アパートへの共同投資など）。相互 IVF という難しい状況に取り組む前に、お互いが保護されていることを確認する手段がある。より慎重なアプローチが必要だ



が、実際にそうしている人がどれだけいるか、わからない。

Q.多くの社会では、「産むこと」は、女性の役割として、神聖視されています。中国では、「妊娠出産すること」は、「女の腹は借り物」といった儒教的な考え方のせいで、低く見られていますか？ 富裕な女性はこの役割から降りようとしていますか？

現在、中国では代理出産は確実に違法であるため、そのようなサービスは国外で探す必要がある。家父長制は中国に根強く残っており、政府は女性に対し、家に帰って家事をするよう促し、この物語の価値を維持しようとしている。この文脈の中でレズビアン母親について考えるのはとても複雑な作業になる。

家族に対するレズビアン女性の願望を考慮する必要がある。レズビアンカップルと話すとき、彼女たちはしばしば、家族を始めるためのロジスティクスにもっと関心があり、生殖の側面（すなわち実際の妊娠出産）にはあまり関心がないようだ。

レズビアンの母親も、儒教の考え方に對して交渉し、対抗することができる。それは全ての女性に関係していることから。

Q. 現在取り組んでいる研究、これからやりたい研究は？

現在、博士号取得に向けて研究を進めている途中で、主にオーストラリアに住む中国人留学生の若いコホートに焦点を当てている。これらの女性が人生の歩みとともにどのように成長するかを見るのが楽しみ。そして、レズビアンの家族形成に関する以前の研究と、成人期への移行に関する現在の研究を組み合わせたら面白いのではないかと考えている。

Q.その他

現時点では、経験的なデータが不足している。しかし、中国ではレズビアンの母親の人口が増加しているため、今後さらに研究が必要な領域がたくさんでくると思う。

中国政府は、現在、一人っ子政策を廃止し、より多くの子供を産むよう人々を説得しようとしているが、特定の人々対しては、それを思いとどまらせようとしている。場合によっては、3人の子供を持つことが奨励されるが、これは以前のポリシーからの大幅な変更だ。

中国の女性は卵子凍結の権利を求めて戦っている。ひとり親とレズビアンの母親はまだ奨励されていないので、体外受精で妊娠出産することに対して大きな障壁がある。

全体として、中国の女性と LGBTQ の基本的権利は大幅に抑制されているのは間違いない。

(2022年7月)



Ms. Hao Zheng [Link](#)

中国本土出身。17歳で来豪し、メルボルン大学で学士号を取得し、ディーキン大学で博士課程を終え、現在、博士号取得に向けて研究を進めている。専門分野は、社会学、カルチュラルスタディーズ、インターネット研究、移民/流動性研究。

Journal of Homosexuality に出版された論文では、Weibo に投稿された記事から、相互 IVF で親になったレズビアンカップルの事例について論じている。

Zheng, H. (2021). Shared motherhood or free surrogacy?: Risks and vulnerabilities in a Chinese lesbian's family making. *Journal of Homosexuality*.

Zheng, H. (2021). Chinese queer female students' digital discourses and practices in transnational transitions, presented at the MEM and Genders & Sexualities Thematic Groups Session, The Australian Sociological Association (TASA) Thematic Week 2021.

Zheng, H. (2021). Chinese queer female students' digital discourses and practices in transnational transitions, presented at Digital Intimacies #7 Symposium, *The University of Queensland*.